



望まない受動喫煙防止は

マナーからルールへ

「望まない受動喫煙の防止を図る」ことを目的として健康増進法が改正されます。法改正により、多数の者が利用する施設、飲食店等の事業者、船舶・鉄道に関する旅客運送事業では、原則屋内禁煙となります。改正「健康増進法」の全面施行は2020年4月ですが7月1日からは病院や学校、行政機関などの敷地内での喫煙が原則禁止となります。同仁会でも健康増進のとりくみを強化します。

タバコの煙には、200種類もの有害物質（うち約70種類は発がん性物質）が含まれています。受動喫煙の危険性はあまり知られていませんが、喫煙者が吸い込む主流煙よりも、タバコの先から立ちのぼり、ほかの人も吸い込む副流煙には、主流煙よりもずっと多くの有害物質が含まれています。その影響は肺がんだけでなく、喘息などの呼吸器障害、心筋梗塞などにまで及ぶことが分かっています。

す。

多くの方は、分煙したり、空気清浄機があれば防ぐことができるかと思っているのではないのでしょうか。分煙では、たばこの煙をシャットアウトできないことが研究で明らかになっていきます。また、空気清浄機の多くは、煙の粒子成分とガス成分のうち粒子成分しか吸い取れません。排気口からはガス成分の中にある有害物質がそのまま流れることとなります。こうした誤

解をなくし、受動喫煙による健康障害をできるだけ減らすための対策が重要視されています。健康なまちづくりをすすめる同仁会では、受動喫煙防止の対策を強化します。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



みみはらグループのとりくみ

■ 職員の就業時間中の喫煙を禁止します

休憩時間や出退勤時の公園や道路での喫煙も禁止します。

■ 同仁会各施設内の喫煙場所は順次閉鎖します

耳原総合病院 緩和ケア病棟の喫煙ブースを「屋内完全禁煙」という法の趣旨に基づき6月30日に閉鎖しました。

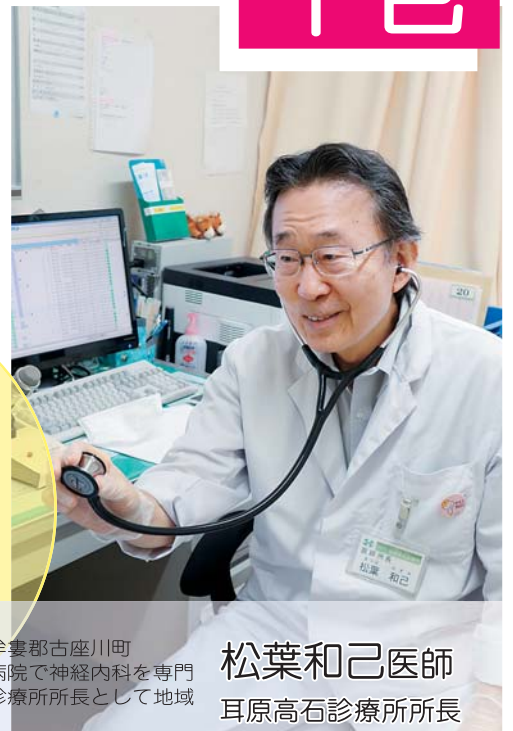
■ 禁煙サポートを行います

禁煙したいけど止められないという方は、みみはら高砂クリニック、耳原鳳クリニック、みみはらファミリークリニックで開設している禁煙外来を受診しましょう。



みみはら 十人十色

シリーズ
みみはらの人 ②



松葉和己医師
耳原高石診療所所長

シリーズ第2回目は、同仁会で40年、耳原高石診療所で15年間所長として勤務されている松葉和己医師です。

— 医師になったきっかけは？ —

高校生までは圧倒的に文化系にシンパシーを持っていました。それが、理科系の大学に入学してしまい、2年生からは授業に出ず一人で医学部受験の勉強をしていました。その時に、ロマン・ローラという作家のジャン・クリストフという作品に出会い、パワーと勇気をもたらしました。今ここで働いているのはこの本のおかげです。臨床医は、突き詰めれば、人に安心を与えるための仕事です。生身の人間相手の臨床医としてなら、数字よりも言葉のほかに親近感を覚える人間もあっていいのではないかと思います。— 日々感じている「やりがい」や大切にしていることはありますか？ —

初めて診察するときには、必ず目をあわせて患者さんのお話をじっくり聞くことにしています。電子カルテに向かうのは患者さんが診察室の外に出てからです。医師として最低限のマナーだと思っているからです。私は、人の心の奥底に迫りたいと常に思いながら診察をしています。だから患者さんが話しやすい雰囲気を作ることに注意を払っています。

— 友の会や、患者さん・利用者さんに伝えたいことは？ —
私のような、ええ加減な医者でも受け入れていただいた患者さん、利用者さん、友の会さんには、感謝の言葉しかありません。友の会には、医師がもっと地域に出ていく支援をお願いしたいと思います。地域に入ることこそ、医師は「本当の医師」として成長するのだと思います。

臨床医は
人に安心を与える
仕事だと思います

1954年生まれ
大阪市生野区出身。本籍は和歌山県東牟婁郡古座川町
同仁会へは1980年に入職し、耳原総合病院で神経内科を専門として診療に携わり、現在は耳原高石診療所所長として地域の健康を守られている。

1冊の本との出会いから、医師としてのありようを探求されてきた松葉先生。生身の人間相手の臨床医は「人に安心を与える仕事」との言葉が印象的で、診察室で、目をあわせてお話を聞きながら、姿勢にながっているのだと感じました。

座右の銘は、「人間万事塞翁が馬」とのこと。「なるようになるさ」という一見お気楽に見える言葉ですが、そのことが、安心して療養できる大らかな雰囲気を作りだしておられるのでしよう。

先生は医師以外に「作家」としての顔もお持ちで、「虚構のERR」、「蘇生」を電子書籍で配信されています。人の心に向き合っている先生らしく、医療者と患者のお互いを行き来する言葉を大切にされていました。